



株式会社ブロードバンドタワー
(証券コード：3776)

2014年6月期 事業報告会説明資料
2014年9月19日



山口県防府市にある太陽光発電所



2014年6月期 通期連結決算ハイライト



連結売上高 **26,755 百万円** (前期比 +3,227百万円、+12.1%)
(※当初公表値 : 25,000百万円)

連結営業利益 **785 百万円** (前期比 -200百万円、-25.5%)
(※当初公表値 : 640百万円)

連結経常利益 **801 百万円** (前期比 -44百万円、-5.5%)
(※当初公表値 : 640百万円)

連結当期純利益 **238 百万円** (前期比 -54百万円、-22.8%)
(※当初公表値 : 240百万円)

2014年6月期 通期トピックス①

ブロードバンドタワーについて

ヤフーグループIDCフロンティアと共同データセンター事業を開始（2013年7月）

ヤフー等向けにIDCフロンティアが運用実績のある、新白河（福島県）と北九州（福岡県）サイトの利用が可能。IDCフロンティアと共同で、「都心・地域連携型データセンター」の提供を目指す。



ITコアより仮想化クラウドホスティング事業（GrowServer）を譲受（2013年8月）

クラウドサービスの強化施策として、当社独自の「c9」サービスの運用体制の強化を図り、仮想化クラウドサービス分野においてより一層付加価値の高いサービスを顧客に対して提供していく。



山口県防府市に太陽光発電所を設置し、スマート・エネルギー事業を開始（2013年9月）

スマート・エネルギー事業の開始を契機に、本発電所を次世代エネルギーの最適化におけるテストベッドとしても活用し、「インターネット」と「エネルギー」の融合事業へと発展させていく。



2014年6月期 通期トピックス①

ブロードバンドタワーについて

国内企業初、クラウドセキュリティ認証制度「STAR認証」を取得（2014年6月）

STAR認証は、ISO/IEC 27001のアドオン認証でクラウドコンピューティングのセキュリティレベルにおける成熟度を評価する認証制度。

このSTAR認証取得を契機に、CCMを基準としたクラウド・セキュリティレベルの向上に取り組んでいくとともに、受注拡大とクラウド市場全体の拡大を図っていく。



2014年6月期 通期トピックス②

連結子会社について

ビービーエフが中国に子会社を設立し（2013年7月）、中国での営業を開始（10月）

成長著しいマーケットとしての中国国内において、消費者の繊細な動向を直接把握できる環境を構築するとともに、ビービーエフ及びその子会社ブランチ・アウトが日本で培った事業ノウハウを現地で直接展開することにより、事業の拡大を目指す。



株式会社Lyudia設立（2013年8月）、フランスIngenicoと日本国内総代理店契約締結（12月）、株式会社日本カードネットワークと機器売買契約を締結（2014年3月）

決済市場の更なる拡大を見越して、決済ビジネス向けのデバイス、アプリケーションやシステム開発等のソリューション提供を行う子会社として、株式会社Lyudiaを設立。昨年（2013年）12月に、決済端末機器ソリューションにおいて世界最大シェアを誇る世界最大シェアを誇るフランスIngenico社と日本国内における総代理店契約を締結。今年（2014年）3月に、株式会社日本カードネットワークと同社が提供する次期モバイルカード決済端末について、機器売買契約を締結。



2014年6月期 通期業績概況 (連結)

(単位: 百万円)	2013年6月期	2014年6月期	前期比	
			金額	増減率
売上高	23,528	26,755	3,227	12.1%
売上原価	19,451	22,155	2,704	12.2%
売上総利益	4,076	4,600	523	11.4%
(利益率)	17.3%	17.2%		
販管費	3,090	3,814	723	19.0%
営業利益	986	785	△200	△25.5%
(利益率)	4.2%	2.9%		
経常利益	845	801	△44	△5.5%
(利益率)	3.6%	3.0%		
当期純利益	293	238	△54	△22.8%
(利益率)	1.2%	0.9%		

BBFの売上高増加が寄与
Lyudiaが6月に売上計上

BBFの売上高拡大

- ①BBFの売上高拡大
- ②新規事業における先行投資
- ③Lyudiaの販管費が発生

データセンターの減損損失を特別損失に計上

2014年6月期 通期業績概況（個別）

(単位：百万円)	2013年6月期	2014年6月期	前期比	
			金額	増減率
売上高	8,342	7,719	△622	△8.1%
売上原価	6,877	6,315	△561	△8.9%
売上総利益	1,465	1,404	△61	△4.4%
(利益率)	17.6%	18.2%		
販管費	1,043	1,016	△27	△2.7%
営業利益	422	388	△34	△8.8%
(利益率)	5.1%	5.0%		
経常利益	416	447	30	6.9%
(利益率)	5.0%	5.8%		
当期純利益	174	223	48	21.6%
(利益率)	2.1%	2.9%		

Isilonの受注見込減少、データセンターの顧客解約等

業務受託手数料が営業外収益として発生

2014年6月期 通期要約BS・CF (連結)



(単位：百万円)	(2013/6)	(2014/6)	(2013/6)	(2014/6)	
流動資産合計	7,530	8,651	流動負債合計	3,799	4,356
現金及び預金	2,913	3,791	買掛金	2,133	2,322
受取手形・売掛金	2,747	3,203	1年内長期借入金	525	742
有価証券	999	599	未払法人税	342	110
商品及び製品	556	661	その他	799	1,180
繰延税金資産	112	168	固定負債合計	2,137	2,411
その他	204	228	長期借入金	1,475	1,742
貸倒引当金	△2	△2	その他	662	669
固定資産合計	4,170	4,134	負債合計	5,937	6,768
有形固定資産	1,522	1,679	株主資本合計	5,334	5,510
無形固定資産	1,142	1,055	その他包括利益 累計額	0	1
投資その他の資産	1,506	1,399	新株予約権	29	31
			少数株主持分	399	473
			純資産合計	5,764	6,017
資産合計	11,701	12,785	負債純資産合計	11,701	12,785

(単位：百万円)	2013年6月期	2014年6月期
営業活動CF	1,331	1,106
投資活動CF	△827	△1,058
財務活動CF	683	416
現金及び現金同等物の期末残高	3,838	4,301

【キャッシュ・フロー内訳】

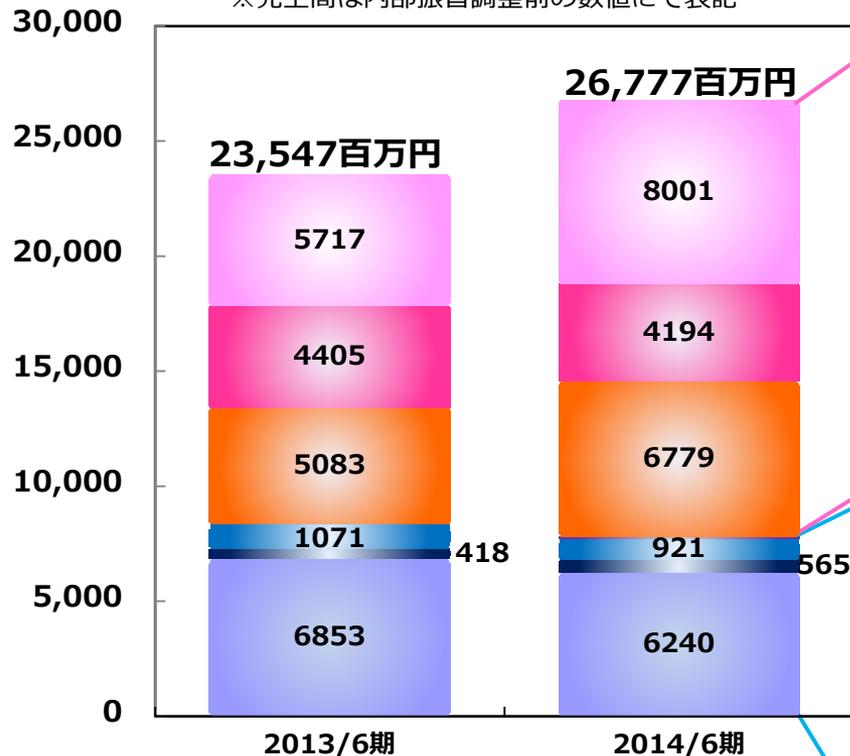
- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - 税金等調整前四半期純利益 730百万円
 - のれん償却額 249百万円
 - 売上債権の増加 △108百万円
 - たな卸資産の増加 △105百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - 有形固定資産の取得による支出 △677百万円
 - 事業譲渡に伴う支出 △202百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - 短期借入による収入 1,910百万円
 - 短期借入金の返済 △1,910百万円
 - 長期借入による収入 1,100百万円
 - 長期借入金の返済 △615百万円

連結子会社ビービーエフの拡大に伴い、各費目において増加

当社セグメントにおけるサービス内容別売上（通期）

(単位：百万円)

※売上高は内部振替調整前の数値にて表記



- ECサイト構築・運用
- TVショッピング支援
- ファッションホールセール
- その他・海外事業
- スマート・エネルギー
- データ・ソリューション
- クラウド・ソリューション
- データセンター

ファッションビジネスプラットフォーム事業 18,973百万円（前年同期比+3,768百万円）

- ECサイト構築・運用：8,001百万円 増収（+2,283百万円）
⇒既存ブランドの売上拡大及び新規ブランド獲得により、順調に増加。
（直近におけるサイト数：83サイト）
- TVショッピング支援：4,194百万円 減収（▲210百万円）
⇒QVC及び台湾・中国向けの売上高が減少
- ファッションホールセール：6,779百万円 増収（+1,695百万円）
⇒前第1四半期で連結範囲に含まれていなかったブランチ・アウトの売上が計上

コンピュータプラットフォーム事業 7,804百万円（前年同期比▲538百万円）

- その他・海外事業：8百万円 増収（+8百万円）
⇒当第3四半期（4月）から売り上げに寄与
- スマート・エネルギー：69百万円 増収（+69百万円）
⇒当第1四半期（9月）から売り上げに寄与
- データ・ソリューション：921百万円 減収（▲149百万円）
⇒「GrowServer」が当第1四半期（8月）から売上高に寄与するものの、「c9Flex」シリーズの売上高が減少
- クラウド・ソリューション：565百万円 増収（+146百万円）
⇒「ISILON」の売上高が減少
- データセンター：6,240百万円 減収（▲613百万円）
⇒既存顧客の解約等により減少

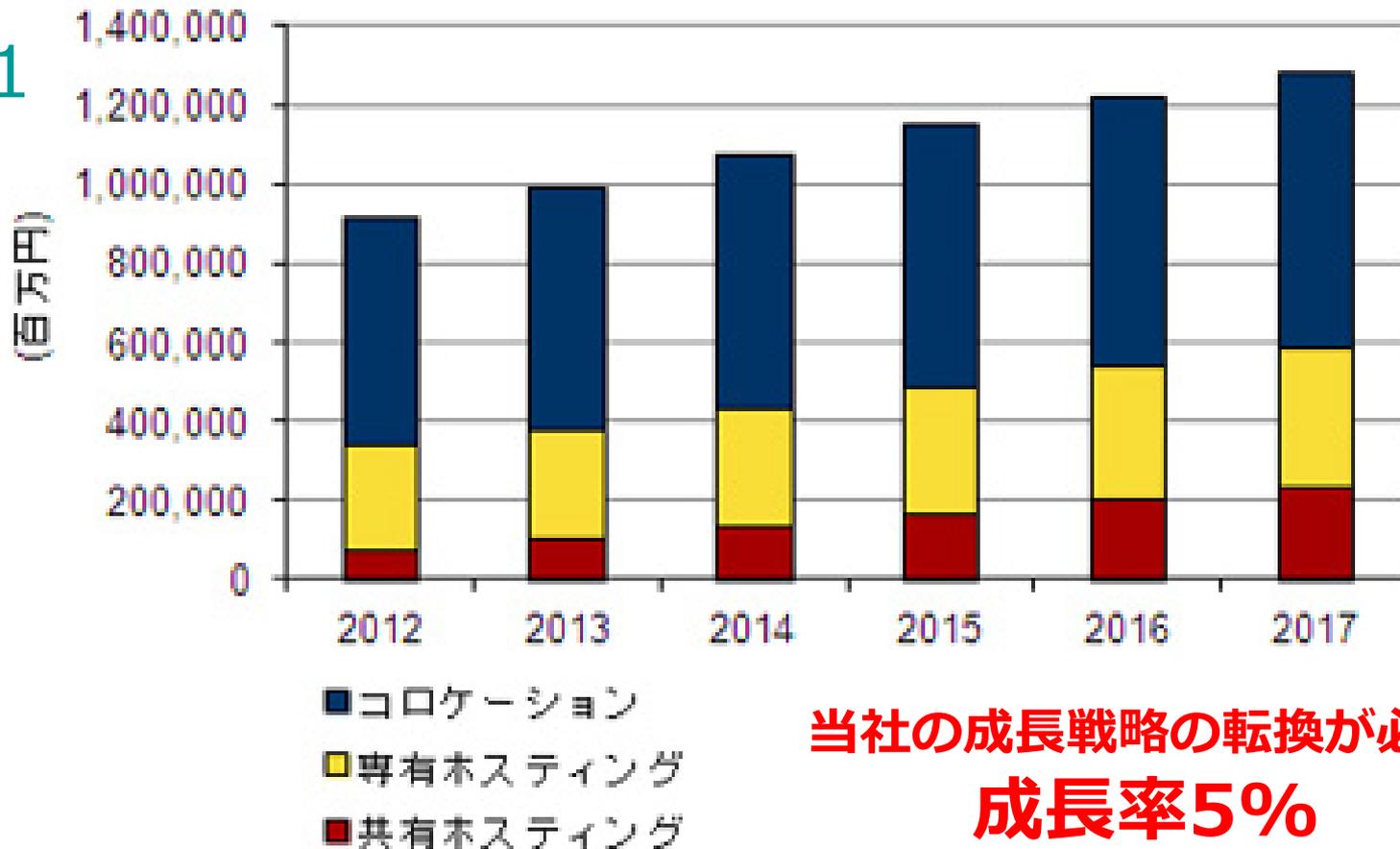
今期（2015年6月期）の取り組み

第2 創業期の基本方針

基本方針	経営方針	具体策
既存事業の強化・拡大	既存データセンター事業の効率向上	① 都心地域連携型データセンターの提案 ② クラウドホスティング事業の強化
	新クラウド事業モデルの立案と実行	③ STARセキュアクラウド事業
新規事業の創出	スマートコンバージョン事業の立案と実行	④ スマート・エネルギー事業の開始 ⑤ 決済事業の本格参入
	グループ全体での海外比率の向上	⑥ iDC・クラウドサービス事業のグローバル展開
		⑦ BBF、中国市場への進出

国内データセンターサービス市場は9, 926億円だが5%成長に留まる

背景 1



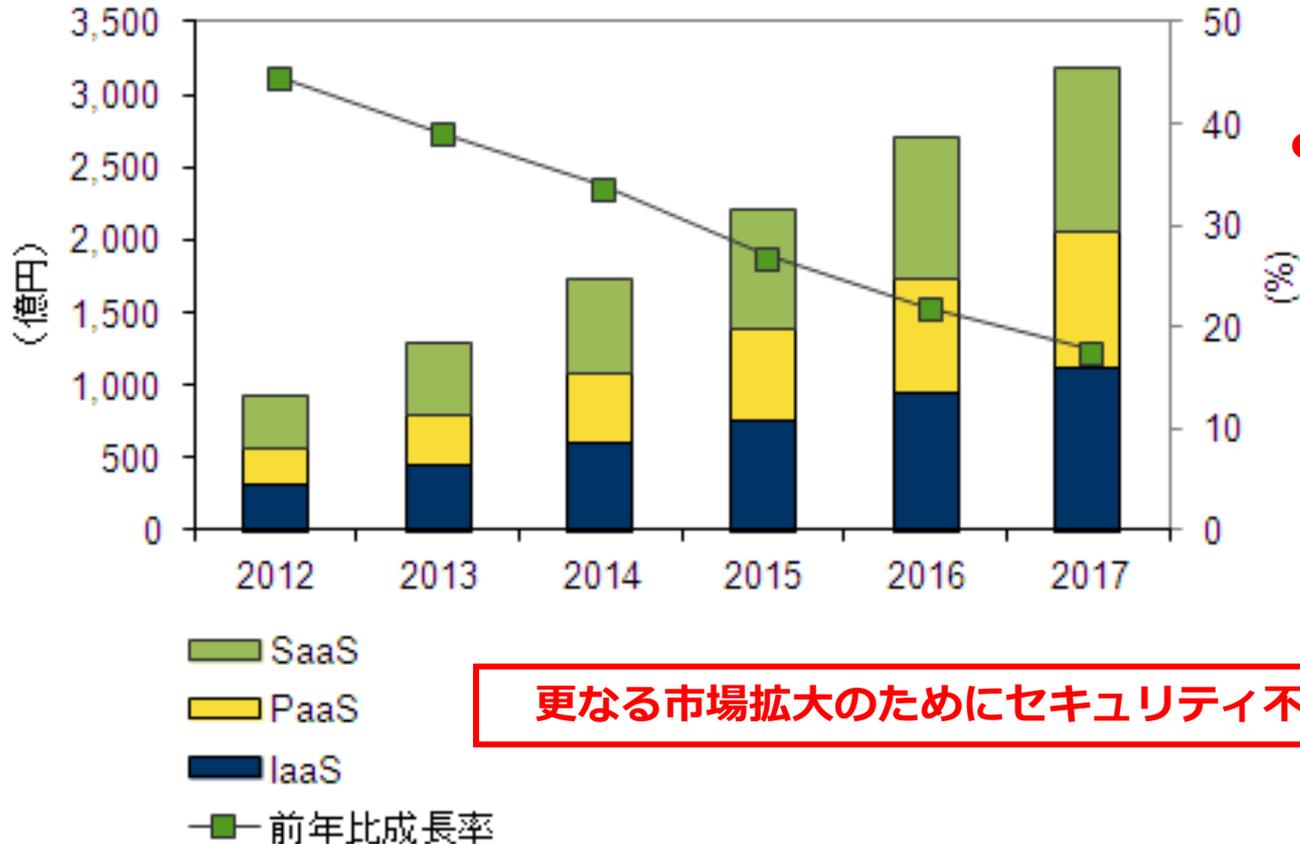
当社の成長戦略の転換が必要！
成長率5%

Note: 2012年は実績値、2013年以降は予測

国内データセンターサービス市場
サービスカテゴリー別売上額予測：2012年～2017年（出典：IDC Japan）

<参考資料>

国内パブリッククラウドサービス市場 セグメント別売上額予測 2012年～2017年



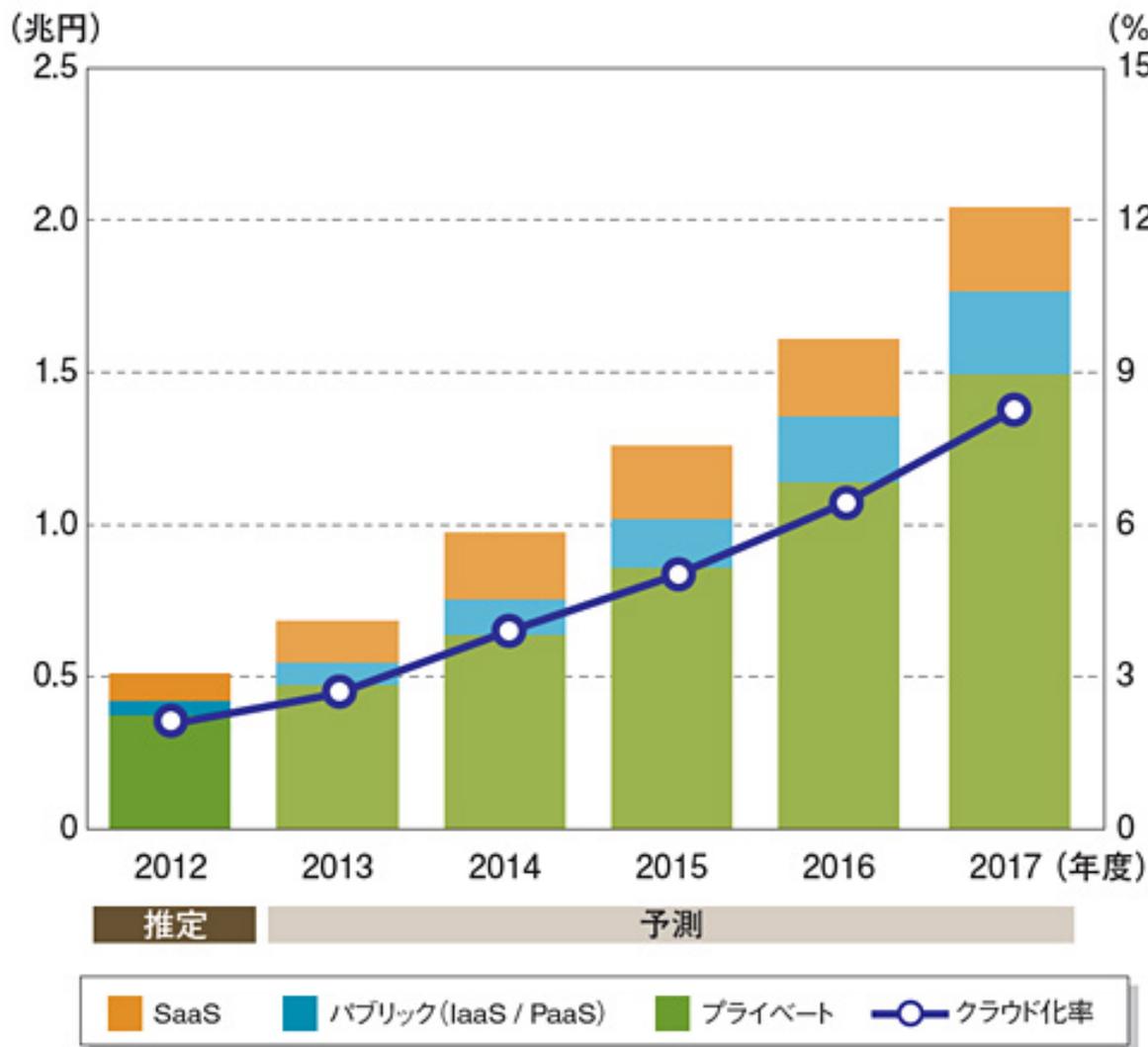
● 2012年から2017年の平均の市場成長率は27.8%

● 2017年の市場規模3,178億円へ (2012年の約3.4倍)

更なる市場拡大のためにセキュリティ不安の払拭が必要！

出典：2013年4月 IDC 国内クラウド市場予測より

背景3 国内クラウド市場の成長特性に合った展開



出所：MM総研 (2013年8月28日)

● 2017年の国内クラウド市場規模は2兆円へ！

● 国内プライベートクラウド市場は特に拡大

・ 2013年市場規模は前年比43.9%増の4,627億円

・ 2012年～2017年の年間平均成長率は34.5%

・ 2017年の市場規模は2012年比4.4倍の1兆4,129億円

国内プライベートクラウド市場の特性に合った当社を含む業界発展への方策が重要！

① 都心地域連携型データセンターの提案

- ・ サーバ管理はリモートで行うため、都心のデータセンターにサーバを置く必要がない。
- ・ 地方であっても東京郊外並のネットワーク速度
- ・ 危機管理の観点から東西への分散

企業のコアとなるコンピュータ・データは大手町を中心とする都心へ。

使用頻度の低い大量のコンピュータ・データは **地方** へ



②クラウドホスティング事業の強化

クラウド”で”悩みを解決
クラウド”の”悩みを解決



クラウド利用企業様

情報配信
リッチコンテンツ配信
Eコマース
コーポレートサイト
アプリケーションサービス等

BBT CIビジネスチーム クラウド・ソリューション

クラウド・インテグレーション（設計/構築）

クラウド・マネージメント（運用/障害対応）

クラウド・コンサルテーション（標準化/自動化）

パブリック・クラウド

プライベート・クラウド/オンプレミス（仮想）



GrowServer

連携



vmware



ハイブリッドクラウド



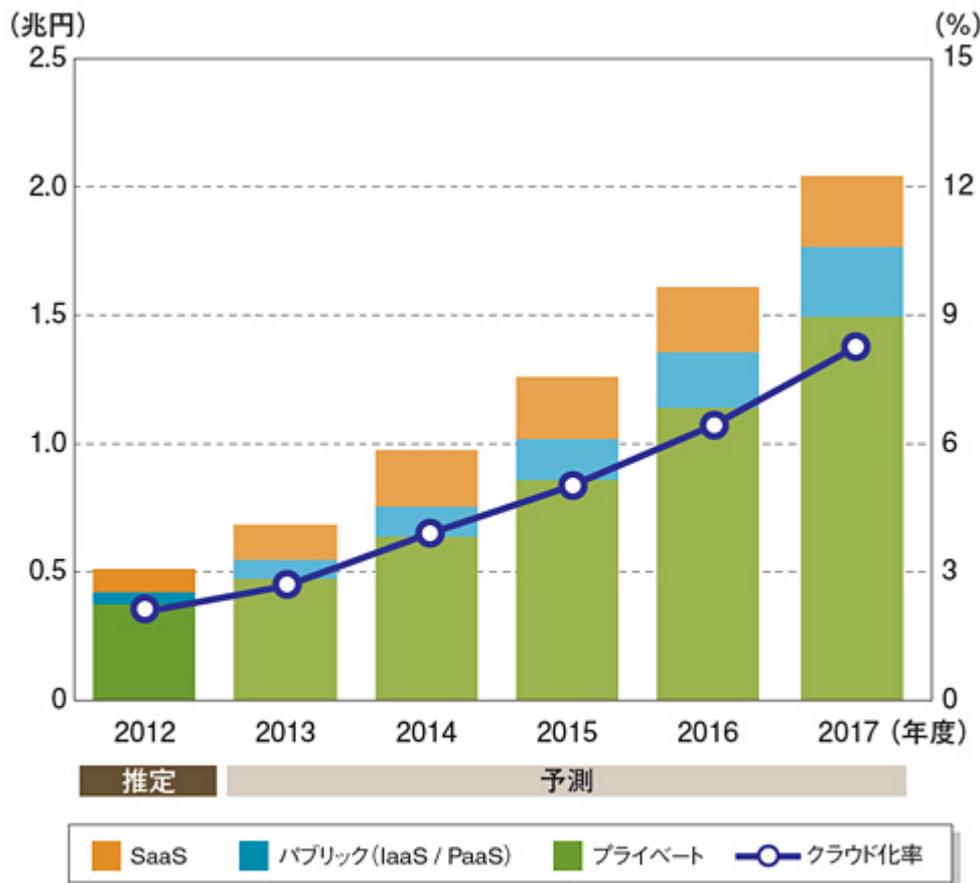
openstack

順次追加

順次追加

③ STARセキュアクラウド事業

国内企業初、クラウドセキュリティ認証制度「STAR認証」を取得（2014年6月）



出所：MM総研（2013年8月28日）



- 国内プライベートクラウド市場
- ・ 2013年市場規模は前年比43.9%増の4,627億円
- ・ 2012年～2017年の年間平均成長率は34.5%
- ・ 2017年の市場規模は2012年比4.4倍の1兆4,129億円【データセンター市場は5%成長】

STAR認証の基盤＝クラウドコントロールマトリックス(CCM)の 11の管理エリアを事業エリアとする新たな成長戦略へ

1. コンプライアンス (Compliance)
2. データのガバナンス (Data Governance)
3. 設備のセキュリティ (Facility Security)
4. 人的資源のセキュリティ (Human Resources Security)
5. 情報セキュリティ (Information Security)
6. 法律 (Legal)
7. 作業管理 (Operations Management)
8. リリース管理 (Release Management)
9. 耐障害性 (Resiliency)
10. リスク管理 (Risk Management)
11. セキュリティアーキテクチャ (Security Architecture)

④ スマート・エネルギー事業の開始

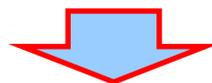
山口県防府市から太陽光発電事業を開始

東日本大震災以降、エネルギーや都市・インフラのあり方が変わり始めた。同時に、エネルギーがITと繋がり、私たちのライフスタイルを大きく変えるスマート・エネルギー社会が誕生。

このような背景から、当社ではこれまで培ってきた技術や知見がエネルギー分野にも活用できると考え、スマート・エネルギー事業（太陽光発電所）を開始。



IT × エネルギー

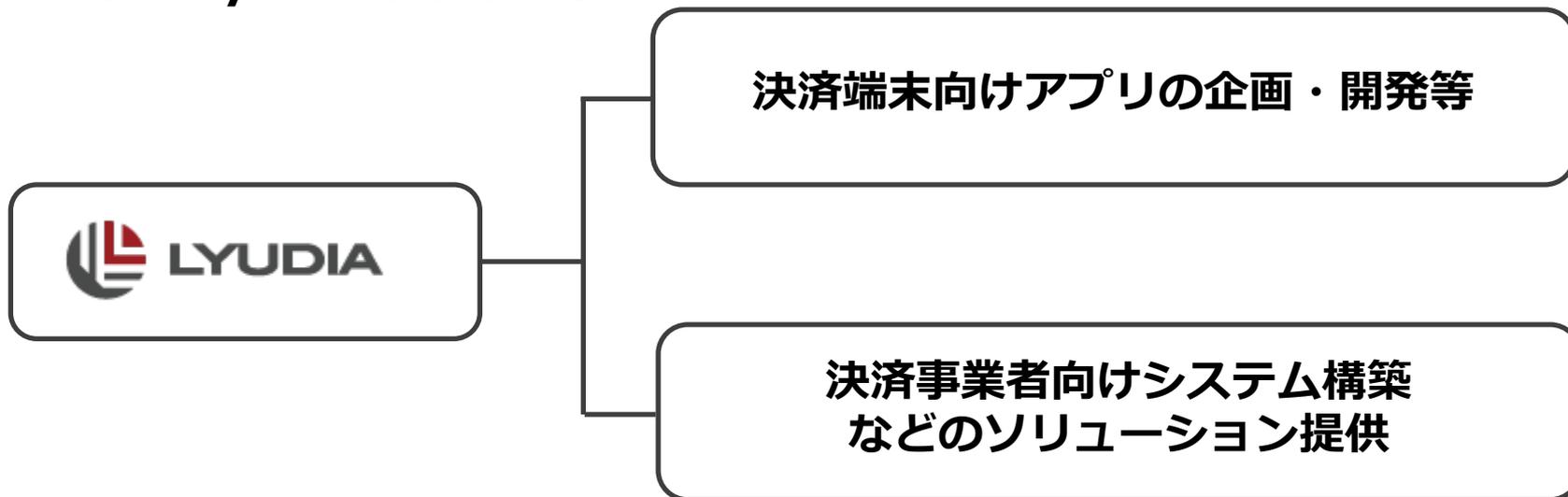


“ベストミックスエナジー”は  の商標です。

BroadBandTower, Inc.

⑤ 決済事業の本格参入

◆ 株式会社Lyudiaの事業概要



今後大きく成長が見込まれるEコマース決済やモバイル決済
の分野において決済インフラサービスを提供。



LyudiaがフランスIngenico社の総代理店権を獲得

決済ソリューション：世界No1

- 参入市場 125カ国
- 端末数(active) 2,000万台
- 世界シェア（2012年） 28.1%

- 2012年度売上 約€14億

- 従業員数 4,500人
- 拠点 40カ国



企業ミッション

世界の決済市場を常にリードし、最先端のソリューションを提供し続ける。

世界の顧客例



端末ラインアップ

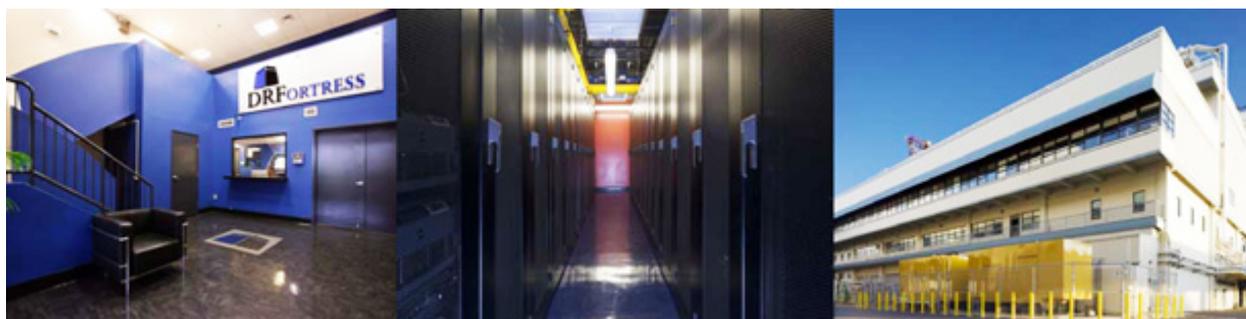
Biometric	Countertop	PinPad	Contactless	Signature Capture	Wireless	iSMP	PDA	Unattended
Bio 930G	iCT 220	iPP 220	iST 150	iSC 250	iWL 220		iPA 280	iUC 150
								
	iCT 250	iPP 280		iSC 350	iWL 250			iUC 180
								
		iPP 320			iWL 280			iUP 250
								
		iPP 350			iWL 350			iUR 250
								

⑥ iDC・クラウドサービス事業のグローバル展開

DRFortress社は、ハワイ州唯一のTier3レベルのデータセンターを有しており、米国のFortune誌にランキングされる世界有数の企業を顧客としています。

震災以降、企業顧客においてニーズが増している、日本国外へのDisaster Recovery（ディザスタリカバリ）や、グローバル展開を検討・実施している企業のインフラ構築・運用ニーズに応えます。DRFortress社は、米国ハワイ州にて最大規模のキャリアニュートラルなデータセンターを有するデータセンター事業者です。商用IXサービスを同州で唯一提供しています。

⇒2014年4月から開始した国立天文台ハワイ観測所向けハワイ/日本連携サービスの強化



- ①コロケーション(ハウジング)
 - ・1/4 ラック、ハーフラック、フルラック/ケージ/専用ルーム
- ②クラウド(DRFcloud)
- ③クラウドストレージ(DRFstorage)
- ④24時間365日リモートアシスト(英語)
- ⑤IXサービス(DRFxchange)

⑦ ビービーエフ、中国市場への進出

連結子会社 B B F、中国上海市に完全子会社を設立

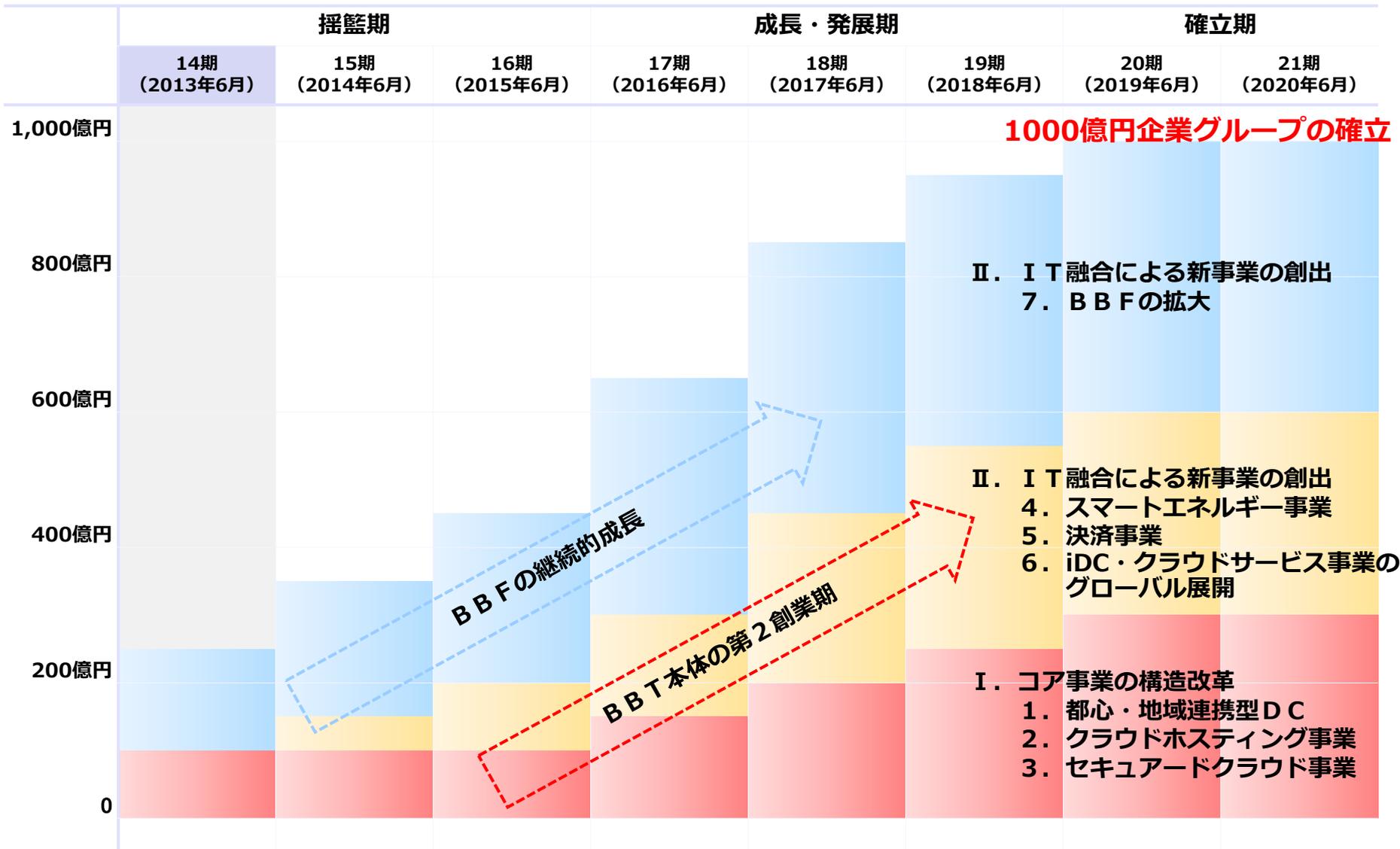
中国は、巨大な人口と購買力の上昇を背景にしたマーケットとしての存在感は、今後益々重要性を増してくるものと見込まれる。

B B Fは中国に完全子会社を設立し、成長著しいマーケットとしての中国国内において、消費者の繊細な動向を直接把握できる環境を構築すると共に、B B F及びブランチ・アウトが日本で培った事業ノウハウを現地で直接展開することによる事業拡大を目指す。



第2創業期の成長シナリオ

『クラウドサービス』
基盤整備によって実現！





2020年6月期 通期連結業績予想



中長期計画

通過点 : 2015年6月期 300億円
(BBT1 : BBF4)

連結売上 : 2020年6月期 1,000億円
(BBT : BBF = 1 : 1)



ご清聴ありがとうございました。